

平成24年度

筑紫野市教育委員会  
点検・評価報告書

平成25年12月

筑紫野市教育委員会

# 目 次

I. はじめに	2
II. 教育委員会の活動状況等	2
(1) 教育委員会の構成	2
(2) 教育委員会会議付議事項	3
(3) その他の活動状況	5
III. 事務事業の点検・評価	6
<生涯にわたって、いつでも、どこでも、だれでも学べる教育環境の整備>	
1. 学校教育の充実	7
2. 青少年の健全育成	13
3. 生涯学習・社会教育の推進	18
4. スポーツ・レクリエーションの推進	35
<認めあい、共に生きる人権尊重社会の醸成>	
5. 人権意識の向上	39

## I. はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、作成したものです。

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

## II. 教育委員会の活動状況等

### (1) 教育委員会の構成

(平成25年4月1日現在)

委員の区別	氏名	年齢	委員としての任期	
			任命年月日	満了年月日
委員長	近本 明	78	H24. 10. 04	H28. 10. 03
委員（委員長職務代理者）	潮見 眞千子	60	H21. 12. 21	H25. 12. 20
委員	西村 幸子	40	H24. 06. 23	H28. 06. 22
委員	古賀 勇	51	H23. 03. 07	H27. 03. 06
教育長	上野 二三夫	62	H25. 01. 01	H28. 12. 31

(2) 教育委員会会議付議事項

開催番号	開催日	付 議 事 項
平成24年 第4回	4月27日	○教育長の報告について ○各課からの報告について
第5回	5月25日	○工事請負契約の締結について ○筑紫野市部設置条例等の一部を改正する条例の制定について ○筑紫野市若年者専修学校等技能習得資金入校支度金立替金貸与要綱及び筑紫野市若年者専修学校等技能習得資金貸与要綱の一部を改正する要綱の制定について ○筑紫野市いきいき元気人養成講座に関する規則の一部を改正する規則の制定について ○筑紫野市社会教育委員及び筑紫野市生涯学習センター協議会委員の委嘱について ○成人式の日程について ○筑紫野市歴史博物館協議会委員の委嘱について ○阿志岐山城跡保存整備計画専門委員の委嘱について ○筑紫野市文化財保護審議会委員の委嘱について ○筑紫野市私立幼稚園就園奨励費の給付に関する規則の一部を改正する規則の制定について ○教育長の報告について ○各課の報告について
6回	6月27日	○筑紫野市社会教育委員及び筑紫野市生涯学習センター協議会委員の委嘱について ○筑紫野市歴史博物館協議会委員の委嘱について ○筑紫野市奨学生の選考について ○筑紫野市奨学生の選考について ○筑紫野市奨学生の選考について ○筑紫野市奨学生の選考について ○筑紫野市奨学生の選考について ○筑紫野市奨学生の選考について ○筑紫野市立図書館協議会委員の解嘱及び委嘱について ○教育長の報告について ○各課の報告について
第7回	7月25日	○平成25年度使用小学校及び中学校教科用図書の採択について ○筑紫野市子どもの読書活動推進会議設置規則の制定について ○教育長の報告について ○各課の報告について
第8回	8月27日	○財団法人管理公社の公益法人への移行について ○市長の権限に属する事務の委任解除について ○筑紫野市陸上競技場の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について

		<ul style="list-style-type: none"> <li>○筑紫野市陸上競技場の設置及び管理に関する条例施行規則を廃止する規則の制定について</li> <li>○筑紫野市教育委員会事務局組織及び職務執行規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>○筑紫野市若年者専修学校等技能習得資金貸与要綱の一部を改正する要綱の制定について</li> <li>○筑紫野市若年者専修学校等技能習得資金入校支度金立替金貸与要綱の一部を改正する要綱の制定について</li> <li>○財団法人筑紫野市管理公社事業等の報告について</li> <li>○筑紫野市一般会計（教育関係）補正予算について</li> <li>○一般社団法人筑紫野市体育協会事業等の報告について</li> <li>○筑紫野市指定史跡（原口古墳）の追加指定について</li> <li>○教育長の報告について</li> <li>○各課の報告について</li> </ul>
第9回	9月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○筑紫野市教育委員会委員長の選挙の件について</li> <li>○委員長職務代理者の指定の件について</li> <li>○平成23年度筑紫野市一般会計歳入歳出決算（教育費）について</li> <li>○平成23年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計歳入歳出決算について</li> <li>○教育長の報告について</li> <li>○各課の報告について</li> </ul>
第10回	10月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○筑紫野市小地区公民館設置条例の一部を改正する条例の制定について</li> <li>○筑紫野市教育委員会公印規程の一部を改正する規程の制定について</li> <li>○教育長の報告について</li> <li>○各課の報告について</li> </ul>
第11回	11月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成23年度筑紫野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価について</li> <li>○筑紫野市学校給食調理場整備基本構想について</li> <li>○筑紫野市立図書館設置条例施行規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>○教育長の報告について</li> <li>○各課の報告について</li> </ul>
第12回	12月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○筑紫野市教育委員会教育長の選任について</li> <li>○平成24年度筑紫野市一般会計補正予算（第4号）〈教育費〉について</li> <li>○筑紫野市奨学生の選考について</li> <li>○筑紫野市奨学生の選考について</li> <li>○筑紫野市奨学生の選考について</li> <li>○筑紫野市奨学生の選考について</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>○筑紫野市文化振興審議会委員の委嘱について</li> <li>○教育長の報告について</li> <li>○各課の報告について</li> </ul>
平成25年 第1回	1月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○筑紫野市学校運営協議会規則の制定について</li> <li>○宝満山の管理団体について（意見具申）</li> <li>○教育長の報告について</li> <li>○各課の報告について</li> </ul>
第2回	2月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成24年度筑紫野市一般会計補正予算（第6号）〈教育費〉について</li> <li>○平成24年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計補正予算（第1号）について</li> <li>○平成25年度筑紫野市一般会計予算〈教育費〉について</li> <li>○平成25年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計予算について</li> <li>○筑紫野市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について</li> <li>○筑紫野市教育委員会事務局組織及び職務執行規則等の一部を改正する規則の制定について</li> <li>○筑紫野市教育委員会後援に関する要綱</li> <li>○平成25年度筑紫野市教育行政の主要施策（案）について</li> <li>○教育長の報告について</li> <li>○各課の報告について</li> </ul>
第3回	3月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○筑紫野市教育委員会事務局組織及び職務執行規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>○筑紫野市教育委員会公印規程の一部を改正する規程の制定について</li> <li>○平成25年度筑紫野市立小中学校の給食費について</li> <li>○筑紫野市文化振興計画推進会議設置規則の制定について</li> <li>○平成25・26年度筑紫野市スポーツ推進委員の委嘱について</li> <li>○教育長の報告について</li> <li>○各課の報告について</li> </ul>

以上の付議事項は全て可決・承認されました。

（3）その他の活動状況

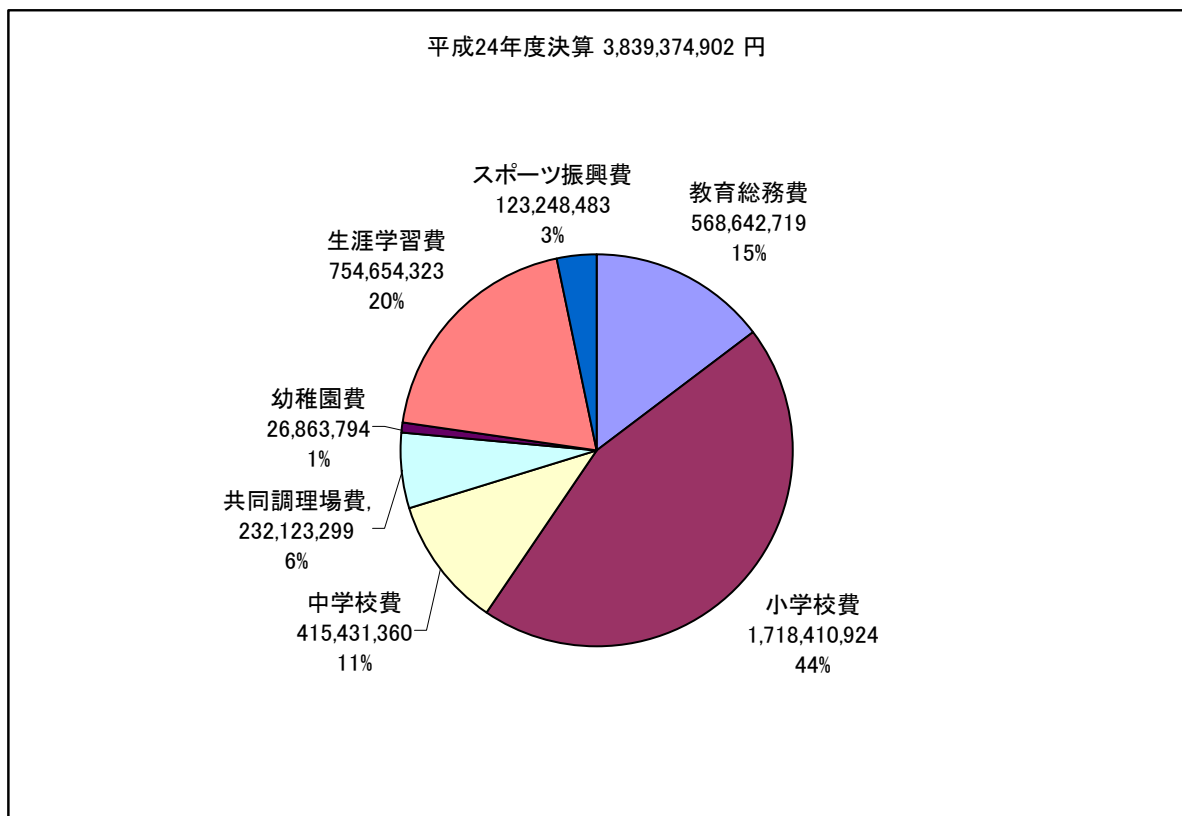
- ① 学校訪問・・・市内全小中学校を訪問
- ② 各種行事等・・・入学（園）式、卒業式、運動会、体育会、教職員赴任式等に出席
- ③ 研修等・・・九州地区教育委員研修大会・筑紫地区教育委員研修会等に参加
- ④ その他・・・定期的学校訪問

### Ⅲ. 事務事業の点検・評価

本市では、継続的に行っている事務事業について、内容の点検を行う事務事業評価制度を導入し、事務の効率化を図っています。

#### (1) 教育費の決算状況

平成24年度の教育費関係決算額38億3,937万4,902円で、一般会計(305億3,629万937円)に占める教育費の割合は12.6%となっており昨年度の教育費関係決算額38億991万9,939円、12.1%と比べて増加しています。これは、平成24年度に二日市小学校(7億1,248万4千円)、二日市東小学校(6億7,010万9千円)、二日市中学校(2億6,495万7千円)の3校で耐震化工事(校舎棟や屋内運動場の改築工事等)を実施したことによります。



#### (2) 事務事業評価

- A . . . . . 成果があがっている
- B . . . . . どちらかといえばあがっている
- C . . . . . あがっていない

生涯にわたって、いつでも、どこでも、だれでも学べる教育環境の整備

1. 学校教育の充実

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	
教育環境の整備	1. 児童生徒等通学支援事業	●児童の通学途上における安全確保を講じることにより教育環境を良好に保つ。 ◇天山バス…児童数28人 稼働199日 平等寺除雪…除雪等回数1回 馬市タクシー…児童数2名 稼働199日 天拝小…指導日数199日 二日市東…指導日数199日	A
教育環境の整備	2. 小学校備品等整備事業	●小学校図書館の図書及び教師用図書の購入 ◇学校教育の振興のため、教材の整備充実、学校図書館の図書及び教師用図書の整備充実を行なった。 事業費 3,437,061円	B
教育環境の整備	3. 中学校備品等整備事業	●中学校図書館の図書及び教師用図書の購入 ◇学校教育の振興のため、教材の整備充実、学校図書館の図書及び教師用図書の整備充実を行なった。 事業費 1,941,292円	B
教育環境の整備	4. 私立幼稚園育成助成金	●公立幼稚園が1園しかなく、それを補完する私立幼稚園の振興 ◇市内私立幼稚園7園に助成 均等割及び園児数割 計2,400,000円	B
教育環境の整備	5. 二日市小学校耐震化事業	●安全で安心して教育が受けられ、教育が出来る教育環境 ◇平成22年度に運動場側にプレハブ校舎を建設・引越しを終えた後、平成23年度に屋内運動場・校舎（九電側）を解体・改築し平成24年5月に屋内運動場・校舎が完成。	A
教育環境の整備	6. 二日市東小学校耐震化事業	●安全で安心して教育が受けられ、教育が出来る教育環境 ◇平成23年度に運動場にプレハブ校舎を建設し、平成24年度に校舎を解体・改築を行った。	A
教育環境の整備	7. 原田小学校プレハブリース事業	●安全で安心して教育が受けられ、教育が出来る教育環境 原田小学校通学区域での急激な児童数の増加により、当面普通教室等が不足するため6教室のプレハブ校舎を建設。	A
教育環境の整備	8. 二日市中学校耐震化事業	●安全で安心して教育が受けられ、教育が出来る教育環境 ◇平成22年9月から新校舎改築工事に着工し平成23年8月に完成した。その後、既存校舎の改修工事やプール建築を終え、運動場の工事を行った。	A



教育環境の整備	9. 二日市北小学校 エレベーター設置事業	<p>●安全で安心して教育が受けられ、教育が出来る教育環境</p> <p>◇肢体不自由児学級に在籍する生徒が円滑に学校施設を利用できるようエレベーター設置工事を行った。</p>	A
教育環境の整備	10. 教師用教科書・指導書購入事業 (H24廃止事業)	<p>●小学校・中学校の教科書の全面改訂に伴い、教職員用の教科書及び指導書の買い替えを行うもの。(平成23年度小学校・平成24年度中学校用)</p> <p>◇中学校の新学習指導要領の完全移行に伴い、4月に中学校教師用指導書・教科書を購入した。</p>	A
教職員の資質の向上	11. 情報教育推進事業	<p>●情報教育の活性化及び各教科においてコンピュータを有効に利用するために、コンピュータ機器を万全な状態にしておくことで、問題なく授業を行う。</p> <p>◇平成21年度から本年度にかけて、学校ICT環境整備事業を活用し、平成23年度末までに市内全小中学校のコンピュータ教室の機器の更新を行った。現在は適正に管理されている。</p>	A
教職員の資質の向上	12. 小中学校教育研究指定校補助金	<p>●児童生徒への授業の力量を高める実践的研究を行い、指定校において公開授業等の研究成果を広く公開していく。</p> <p>◇研究指定校 1年目(天拝小、吉木小、筑紫野中) 2年目(阿志岐小、山口小、筑紫野南中) 3年目(二日市小、筑紫東小、二日市中) ※研究発表会:二日市小(173名)、筑紫東小(127名) 二日市中(169名)</p>	A
教職員の資質の向上	13. 学校教育研究会補助金	<p>●教育研究会等にそれぞれの教職員が参加することで、当該専門的知識の習得や幅広い知識の習得を目指すとともに、学校運営の円滑化を図る。</p> <p>◇講演、実践発表を実施。 ・市教育研究会研修2回 ・筑紫地区教育懇談会研修2回 ・筑紫野市・太宰府市研究会合同研修会1回</p>	B
確かな学力の育成	14. 外国語教育推進事業	<p>●日本語的英語ではなく、現地の英語や文化習慣に触れる時間を多くして、身近に触れさせている。</p> <p>◇ALT3名(内訳:市単費3名) 年間派遣時数:中学校 668時間 小学校 878時間 英語スピーチコンテストの実施 11/11(日) 二日市小学校多目的ホールにおいて実施</p>	A

確かな学力の育成	15. 少人数指導推進事業	●学級や学校全体の人数を分割し、子ども一人ひとりに目が行き届くようきめ細かな指導を行い、学力の向上を図る。	A																															
		◇小学校2年生までの少人数学級を行うため、市費非常勤講師を配置1, 505時間実施。																																
確かな学力の育成	16. 読書活動推進事業	●児童・生徒に読書活動を定着させ、確かな学力の育成につながるために全小学校に図書司書を各1名(週16時間)配置するとともに、標準図書数達成に向け、図書購入費を配分している。	A																															
		◇年間一人当たりの貸出冊数が5,86冊(23年度:25,52冊/24年度:31,38冊)増え、環境面の改善も大きく進んだが、標準図書数の達成については、廃棄処分などとの関係もあり、複数年次を要すると見込まれる。																																
確かな学力の育成	17. 教育ボランティア事業 (H24廃止事業)	●各教科や指導補助など、学校・園が必要とする教育活動を支援することにより、教育分野での相互の充実を目指すとともに、学校教育活動の更なる活性化を図る。	B																															
		◇学生ボランティア11人の登録と延べ15回のボランティア活用があっている。																																
豊かな心の育成	18. 児童生徒等心の支援事業	●指導員3名を配置し、心理的や情緒的に登校できない児童生徒への適応指導、また児童生徒や保護者のカウンセリング等で学校復帰を支援し、不登校児童生徒の社会的自立を目指す。	A																															
		◇市内の小中学校において、不登校となった数134名(小:36、中:98)で、内いじめが原因となった数は6件(全て中学校) 適応指導教室の年間動向 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>小</th> <th>中1</th> <th>中2</th> <th>中3</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">入級</td> <td>継続</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>新規</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td colspan="2">学校復帰</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">年度末在籍</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>*中3生で学校復帰した2名は高校へ進学し、年度末まで在籍した1名は卒業後就職した。 *年間60件の見学や相談があった。</p>				小	中1	中2	中3	計	入級	継続	1	1	2	2	6	新規	2	1	3	1	7	学校復帰					2	2	年度末在籍		3	2
		小	中1	中2	中3	計																												
入級	継続	1	1	2	2	6																												
	新規	2	1	3	1	7																												
学校復帰					2	2																												
年度末在籍		3	2	5	1	11																												
豊かな心の育成	19. スクールカウンセラー事業	●適応指導教室(つくし学級)や中学校に配置している心の教室相談員との連携を通じた支援、療育相談等の就学指導等に関わる関係機関との連絡調整など、教育全般に関わる相談事業のコーディネートを行う。	A																															
		◇市費雇用で中学校に配置している心の教室相談員や、つくし学級に大学より派遣されているヤングアドバイザー(8名、年間213回、児童・生徒の心の開放をねらいとする関わりをしている)へのアドバイザー的な関わりをしている。更に療育相談や子育て支援等の健康・福祉分野と																																

		連携し、教育相談コーディネーターの役割も果たしている。	
豊かな心の育成	20. 心の教室相談事業	<p>●中学校に「心の相談員」を5名配置し学校における生徒の悩み等の相談を行い、ストレスを和らげて心にゆとりがもてることを目的としている。</p> <p>◇生徒の悩みを受け止め、ストレスを和らげることを中心的業務として配置を続けているが、学校現場の事情によって、教室に入れない等の生徒の相手をする場合が増える傾向にある。1日4時間、週16時間勤務を基本とし、8月は休みとして取り扱っている。</p>	A
豊かな心の育成	21. 中学校文化・体育奨励事業	<p>●学校体育・スポーツ・文化活動を通じて、規範意識の向上や道徳性を身に付けるため、文化体育活動に対する補助及び関係団体への負担を行う。</p> <p>◇（文化）</p> <p>5校： 907,090円</p> <p>（体育）</p> <p>筑前大会： 674,093円</p> <p>県大会： 513,900円</p> <p>九州大会： 102,200円</p> <p>全国大会： 300,000円</p> <p>新人戦筑前大会：461,620円 県大会：210,020円</p> <p>（負担金）</p> <p>筑紫地区中学校体育連盟負担金 579,998円</p> <p>筑紫地区中学校文化連盟負担金 83,380円</p>	A
豊かな心の育成	22. ヤングアドバイザー事業	<p>●不登校等の児童・生徒の閉ざした心をほぐし、苦手なコミュニケーションを回復させながら、学習や生き方に対する積極性にもつなげていく。</p> <p>◇8名の大学院生・大学生をヤングアドバイザーとして適応指導教室、中学校や幼稚園などへ派遣し、幼児・児童・生徒の支援を行った。一回の派遣を4時間もしくは6時間とし、延べ850時間の派遣を行った。</p>	A
豊かな心の育成	23. 生徒指導総合推進事業	<p>●心理的や情緒的に登校できない児童生徒への適応指導、また児童生徒や保護者へのカウンセリング等で学校復帰や社会的自立につなげる。</p> <p>◇24年6月から週3日、18時間の事業としてスタート。</p> <p>本年度は、家庭訪問などの実働的支援を主体として実施した。</p>	B

<p>健やかな体の育成</p>	<p>24. 学校保健管理事業</p>	<p>●健康診断を行うことで、児童・生徒及び職員の健康の保持増進を図る。</p> <p>◇学校保健安全法による事業 一般健康診断（147名） 胃検診（128名） 尿検査（1次：9, 107名、2次359名） ぎょう虫検査（6098名） 心臓（1次：1, 921名、2次：58名） 結核（1次：381名、2次：1名） 学校検診（9, 036名） 就学前検診（940名）</p>	<p>A</p>
<p>健やかな体の育成</p>	<p>25. 体力向上推進校指定事業</p>	<p>●市内小中学校の中から体力向上の推進に意欲的な学校を指定し（単年度：小学校2校、中学校1校）、実践研究の成果を市内小中学校に広げて行く。</p> <p>◇24年度指定校：阿志岐小、原田小、筑紫野南中 各校の「体力向上プラン」に基づいて実践された結果が、確実に数値に反映されている。</p>	<p>A</p>
<p>健やかな体の育成</p>	<p>26. 共同調理場給食運営事業</p>	<p>●学校給食は、児童生徒に栄養のバランスがとれた食事を提供することにより、すべての児童生徒の健康増進と体位の向上を図っている。</p> <p>◇市内の小中学校の児童生徒及び教師等に年間189日（約9、600食/日）の給食を共同調理場方式で実施します。平成24年度は、小学校8校が2学期制をとっている。3学期制の学校よりも3日早く給食開始します。</p>	<p>A</p>
<p>健やかな体の育成</p>	<p>27. 給食会助成金</p>	<p>●市学校給食会に助成金を交付することで、給食会の運営が円滑に行われる。</p> <p>◇24年度は、調理員衛生講習会や市料理コンクールの実施。県主催の料理コンクール出場、栄養士の研修・研究大会へ参加した。食育推進に関する事業として、親子料理教室の開催、食育だよりを毎月発行、小学3年生を対象にした学校訪問では、学校給食と連携した食に関する指導を行い児童との会食を行なった。</p>	<p>A</p>
<p>就園、就学の支援</p>	<p>28. 専修学校等技能習得資金貸与事業</p>	<p>●就労に必要な技能及び知識の習得を図り、社会において有為な人材の育成を図る。</p> <p>◇広報及びホームページにより周知を図ったが、専修学校のうち対象となる学校等が限られていることもあり、平成24年度は申請者がなかった。</p>	<p>C</p>

就園、就学の支援	29. 学校就学援助・奨励事業	●経済的な理由によって就学困難な児童生徒への義務教育の就学を円滑に行う。	A
		◇援助児童生徒数実績 要保護 : 45人 準要保護 : 1,520人 合計 : 1,565人 特別支援就学奨励実績 小学校 : 60人 中学校 : 17人 合計 : 77人	
就園、就学の支援	30. 遠距離通学補助事業	●遠隔地にある学校への通学支援を行うことで幼児教育、義務教育を受ける環境を整えることができる。	A
		◇遠距離通学対象者児童生徒数 16人	
就園、就学の支援	31. 幼稚園就園奨励等事業	●公立・私立幼稚園に在園している3・4・5歳児に幼稚園教育の振興を図るため、幼稚園保育料等の補助を行う。	A
		◇公立 11人(減免) 私立 1,181人	
就園、就学の支援	32. 奨学資金貸付事業	●経済的理由によって進学又は修学が困難な生徒に対し学資を貸与し、有用な人材の育成を図る。	A
		◇新規貸与者として、高校生7名、大学生3名を採用した。 高校生9名、大学生1名に対し継続して貸与を行った。	
就園、就学の支援	33. 山家幼稚園預かり保育運営費補助金	●山家地区の保育機能の一部を担い、就労などにより、長時間の保育を必要とする保護者を支援する。	A
		◇最大利用者数 36名/月 当初想定したよりも預かり保育の利用者数が多い結果となった。	
施策の総合推進	34. 特別支援教育推進事業	●市内小中学校に在籍する、障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服する。	A
		◇特別支援学級設置16校中13校に介助員を配置した。(複数配置校があるため、25人配置)	

## 2. 青少年の健全育成

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	35. 地域子ども会活動費補助金	● 単位子ども会の活性化を図る。 子ども達の体験活動を充実させるとともに、親の教育力を高め学習機会を充実させる。	A
		◇ 単位子ども会支援策として補助金総額2,291千円を交付した。 交付単位子ども会数54団体	
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	36. 子どもセンター事業	● 子ども向けの情報誌を作成し配布することにより子どもたちの体験活動の推進を図る。	A
		◇ 子ども情報誌「キッズ・ウィンドー」の発行 7月、9月、12月、3月 各10,500部発行 配布先： 市内各小・中学校 9,500部 市内小地区公民館 400部 市内公共施設,各郵便局,農協等 600部	
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	37. 生涯学習フェスティバル青少年部会事業	● 青少年関係団体の活動状況等の紹介をすることで、より多くの青少年が青少年プラザを容易に利用できるようになる。	A
		◇ ・青少年関係団体の活動状況等の紹介 ・青少年プラザを利用した遊びの体験 ・青少年に関する情報のアピール ・期日：平成24年10月27・28日 ・お化け屋敷、わなげ ・青少年事業の紹介展示コーナー	
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	38. 竜岩自然の家主催講座事業	● 施設を取り巻く豊かな自然環境や学習資源を生かしながら、多彩な学習プログラムの提供を図り、利用者の自然体験活動等の体験者を増やす。	A
		◇ 市民の自然体験活動等の推進を図るための主催事業を実施した。 ・キャンプ指導者養成講座 中止 ・フリークライミング教室 参加者 808人 (少年375人 一般433人) ・ファミリーキャンプ 参加者 61人(24学級) ・ドラゴンロック 参加者 614人	

<p>青少年の居場所づくり</p>	<p>39. 青少年育成事業 (B G レンジャー) 補助金</p>	<p>●様々な体験活動や行事等を通じて心豊かな青少年の育成とまちづくりの推進を図る。</p> <p>◇心豊かな青少年の育成とまちづくりを推進するための事業支援策として、事業に補助金総額255千円を交付した。</p> <p>・継続分： 1件 70千円 ・新規分： 2件 185千円</p>	<p>B</p>
<p>青少年の居場所づくり</p>	<p>40. 子どもフェスティバル事業補助金</p>	<p>●子どもたちが、友達と協力しあって地域でいきいきと遊ぶことができている。</p> <p>◇第12回子どもフェスティバルちくしの&amp;第22回子ども市を実行委員会形式で実施</p> <p>期日：平成24年4月29日</p> <p>会場：カミーリヤ</p> <p>内容：子ども市、昔遊びコーナー、ちびっこ遊びコーナー、人形劇、おもちゃ病院、等</p>	<p>A</p>
<p>青少年の居場所づくり</p>	<p>41. 青少年プラザ事業</p>	<p>●青少年プラザを青少年の交流の場として開放し、青少年関係団体の活動の紹介や発表の場として、また、情報提供や体験学習の場として提供することにより、青少年がいつでも気軽に集まることができる。</p> <p>◇少年の交流の場、青少年関係団体の活動の紹介や発表の場、また、情報提供や体験学習の場として提供した。</p> <p>・情報コーナー ・みんなの掲示板 ・作品展示 ・様々な企画の実施</p>	<p>B</p>
<p>青少年の居場所づくり</p>	<p>42. 夏休み学校外活動事業</p>	<p>●地域の方との交流を通じて子どもたちに「世代間交流」や「同世代と一緒に、外で体を動かして遊ぶ楽しさ」を体験させることにより、子どもたちが地域の中での遊びを通じて生きる力を身につけ、また、地域全体で子どもを見守っていく環境を育てる。</p> <p>◇「ステキな夏休み教室」を本町公民館で実施（二日市小学校区対象）。</p> <p>・開催場所：本町公民館 ・期日：8月8、9、10日の3日 ・参加者：14名</p>	<p>A</p>
<p>青少年の居場所づくり</p>	<p>43. 放課後子ども教室事業</p>	<p>●放課後や週末に小学校の余裕教室等を使用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組みを実施することにより、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)づくりを図る。</p> <p>◇平成19年度から開始する事業</p> <p>・天拝っ子アンビシャス広場（天拝小校区）※週3回で実施中。 ・若葉・中原アンビシャス広場（二日市東小校区）※週2回で実施中。</p>	<p>A</p>

青少年の居場所づくり	44. 筑紫野市通学合宿推進事業	<p>●たくましく豊かな心を育てる（自主性、協調性）、家庭教育を見直す、地域で子どもを育む気運を高める。</p> <p>◇地域力の向上と子どもたちの成長を目的とする。</p> <p>光が丘区通学合宿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加 13人</li> <li>ボランティア（実数）40人</li> </ul> <p>山家区通学合宿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加 19人</li> <li>ボランティア（実数）35人</li> </ul>	A
青少年の居場所づくり	45. 筑紫野市子ども会育成会連絡協議会補助金	<p>●市内の子ども会の育成活動の推進と育成及び指導者の資質の向上に努め、もって子ども会の健全育成に資することを目的に設立された筑紫野市子ども会育成会連絡協議会を支援する。</p> <p>◇団体支援策として補助金495千円を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・KYT（危険予知）講習会 参加者 78人</li> <li>・子ども会サミット2012in竜岩 参加者 71人</li> <li>・市人権問題啓発機関団体研修会 参加者 54人</li> <li>・ちくしのカルタ大会 参加者 262人</li> <li>・校区別現新役員懇談会（市内7会場）</li> </ul>	A
青少年指導者の確保、育成	46. 筑紫野市ジュニア・リーダーズ・クラブ連絡協議会補助金	<p>●ジュニア・リーダーの育成に取り組む団体を財政的に支援する。</p> <p>◇レクリエーション講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>芸術・文化部門</li> <li>マーチングバンド・クラブ</li> <li><input type="checkbox"/>体育・スポーツ部門</li> <li>ソフトテニス</li> </ul>	A
青少年指導者の確保、育成	47. 筑紫野市青年団体連絡協議会補助金	<p>●青少年育成市民会議を通して、青少年の健全育成に資する団体とする。併せて、社会貢献活動を実施する団体とする。</p> <p>◇団体支援策として補助金30千円を交付した。</p>	B
青少年指導者の確保、育成	48. 筑紫野市青少年育成市民会議補助金	<p>●青少年の健全育成に係る団体、機関の中心的役割を果たす活動を支援する。</p> <p>◇団体支援策として補助金200千円を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民フォーラム：テーマ「命・いじめについて」</li> <li>参加者 190人</li> <li>5中学校、4高校の代表によるパネルディスカッション</li> <li>・青少年の健全育成に係る情報交換</li> </ul>	A



青少年指導者の確保、育成	49. 子ども会リーダー スクール	<p>●子ども会の主体者としての自覚を促し、積極的に子ども会を担っていくリーダーの育成を図り、子ども会が円滑に運営される。</p> <p>◇新リーダースクール、春スクール（ニュージェネレーションスクール）、秋スクール（子ども会あそび広場）の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新リーダースクール（2月） 参加者124人 育成会108人</li> <li>・春スクール（ニュージェネレーションスクール）（6月） 参加者144人 育成会65人</li> <li>・秋スクール（子ども会あそび広場）（10月） 参加者95人 育成会45人</li> </ul>	A
青少年指導者の確保、育成	50. 子ども会育成会 指導者研修会事業	<p>●子ども会活動を支援する育成会の役割とその支援のあり方を学ぶことにより子ども会育成会が円滑に運営される。</p> <p>◇市主催指導者研修会 参加者 121人 期日：平成24年4月15日 講師：吉村 春生 氏 内容：「心がかぜをひくとき」</p>	A
青少年指導者の確保、育成	51. 青少年指導員事業	<p>●青少年の非行を防止し、健全な保護、育成を図るため筑紫野市青少年指導員を置く。 指導員数 55人</p> <p>◇青少年の非行を防止し、健全な保護、育成を図るための活動を行った。 小学校区別巡回・筑紫地区一斉パトロール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員会における情報交換</li> <li>・校区別主催事業：筑紫小フットベースボール大会、山家小一泊研修</li> <li>・研修会：教育講演 「子どもとメディアの良い関係づくり」</li> </ul>	A
環境浄化活動の推進	52. 筑紫野市青少年 指導員会補助金	<p>●青少年指導員の自主的活動を支援する。</p> <p>◇団体支援策として補助金90千円を交付した。</p>	A
環境浄化活動の推進	53. 少年補導員会事業	<p>●他市町の補導員会と連携協力し、必要な研修会を実施することにより、少年の非行を防止する。</p> <p>◇青少年の健全育成、非行防止のための事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月開催の定例会において情報交換</li> <li>・校区内危険箇所の巡回（実施回数 24回）</li> <li>・視察・研修：佐世保学園、長崎県警県北少年サポートセンター (10月4日～10月5日)</li> </ul>	A

<p>悩み相談、思春期教育の充実</p>	<p>54. ヤングテレフォン相談事業</p>	<p>●青少年自身や保護者の悩み相談を電話で応じ、その内容に応じたカウンセリングを行うことにより、青少年の非行防止と健全育成を図ることを目的とする。</p> <p>◇青少年自身や保護者の悩み相談を電話で応じ、その内容に応じたカウンセリングを行った。（件数 678回）</p> <p>PRカード配布、ポスター 小中学生（6月） 就学時健診（11月）</p>	<p>B</p>
<p>施策の総合推進</p>	<p>55. 成人式事業</p>	<p>●成人としての自覚を促すことにより、新成人が主体的に社会参加できるようにする。</p> <p>◇ 「成人としての自覚を促し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます」ことを目的に式典を実施（実行委員会により）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日：平成25年1月14日（月・祝） 実施</li> <li>・会場：筑紫野市文化会館</li> <li>・参加者：753人（出席率 74%）</li> <li>・記念品：タンブラー、マイ箸</li> <li>・対象者：1,020人</li> <li>・内容：オープニング・記念式典、記念行事（新成人クイズ王決定戦）</li> </ul>	<p>A</p>

### 3. 生涯学習・社会教育の推進

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	
学習ニーズに応じた学習機会の充実	56. 小地区公民館講座推進事業	●小地区公民館における主催講座の開催を促し、学習支援の推進を図ることにより、市民ニーズに応じた学習機会が提供される。	A
		◇地域の活性化やまちづくりにつながる学習が行われた。 講座内容 教育： 10講座（子ども太鼓・子ども囲碁・お菓子作り） 教養： 7講座（紙芝居作り・歴史・習字・陶芸他） 文化： 4講座（しめ縄作り・ほんげんぎょう） 実用： 7講座（折紙・奈良漬作り・そば作り・和紙工芸他） 合計： 28講座 ※小地区公民館では、教育・実用・趣味等多岐にわたり、いろんな学習が行われている。地域の活性化、まちづくりにつながる学習効果は高いと思われる。	
学習ニーズに応じた学習機会の充実	57. 学びをつなぐ講座	●人権尊重の明るいまちづくりのため、学習を通し人権問題の啓発を図ることにより、人権意識を持った市民を増やす。	A
		◇人権啓発、人権学習のための講座を行った。 講座内容 テーマ：「いきいきと働いて生きてきた」 ～近世被差別民のくらし～ 開講式講座 「散所乞食法師」って何？ 5月17日 17人 館外学習 「千代人権のまちづくり館」 「松原五人衆の墓」 11月15日 14人 講座 「出雲の阿国」と歌舞伎 6月21日 17人 「身分は〇〇、仕事はいろいろ」 7月19日 19人 「資料は裏から読む！」 8月16日 14人 「プロの技 “白革なめし”」 9月20日 19人 「“やったぞ” 米づくりができる！」 10月18日 18人 閉校式講座 「まとめとして」 12月20日 18人 ※福岡県人権教育研修会で事例発表（2月19日）	

<p>学習ニーズに応じた学習機会の充実</p>	<p>58. ちくしの高年大学</p>	<p>●高齢者が豊かな経験を生かして社会参加を実践するための学習を奨めるとともに、受講生相互の親睦を深め、生きがいを見出す。</p> <hr/> <p>◇受講生数 99名</p> <p>1. 教養講座 8回</p> <p>①生き方1回 題目：「わたし流の生き方」</p> <p>②まちづくり1回 題目：「しあわせになる、地域と人との関わり方」</p> <p>③生活1回 題目：防災紙芝居 「幸せ運ぼうー 助け合うまちづくり」</p> <p>④福祉1回 題目：「わたしたちが考える福祉活動とは」</p> <p>⑤生活1回 題目：「金融トラブルにあわない」</p> <p>⑥人権1回 題目：「子どもの生きる力を育てる方法」</p> <p>⑦学習実践発表会1回</p> <p>⑧作品展1回</p> <p>2. 専門講座13回</p> <p>①郷土史 21人 ②太極拳 14人 ③合唱 25人</p> <p>④絵画 16人 ⑤紙版画 9人</p> <p>⑥健康レクササイズ 14人</p> <p>3. クラブ活動8回 社会参加のための技術習得及び実習</p> <p>4. 世代間交流事業 夏休み期間中の小学生を対象とした「夏休み工作教室」を実施、工作指導を行なう 各地区の小学生参加者数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月25日：筑紫南地区（筑紫南コミセン）84人</li> <li>・7月26日：二日市地区（二日市コミセン）50人</li> <li>・7月27日：御笠地区（御笠コミセン）51人</li> <li>・7月30日：筑紫地区（筑紫多目的集会施設）30人</li> <li>・7月31日：山口地区（山口コミセン）87人</li> <li>・8月1日：山家地区（山家コミセン）58人 合計360人</li> </ul> <p>高年大学支援者数 延人数 201人 保護者21人</p> <p>5. 学習成果発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習フェスティバルでの学習発表及び子どもたちの体験学習の場の設置 10月27～28日</li> <li>・学習実践発表会 2月5日</li> <li>・作品展 2月5～18日</li> </ul> <p>6. 社会参加活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・万葉の里ウォーキングの支援 11月10日 (3Kmファミリーコース)</li> <li>・阿志岐小フェスタでの工作支援 10月21日</li> </ul> <p>研究課程として実施していたゼミ講座「チェンジイせんばあ倶楽部」は、自主学習グループとして独立し、自主活動をして継続。</p>	<p>A</p>
-------------------------	---------------------	--	----------

<p>学習ニーズに応じた学習機会の充実</p>	<p>59. 視聴覚教育・視聴覚ライブラリー事業</p>	<p>●生涯学習センターの視聴覚機材・教材を活用してもらうことにより、市民のニーズに応じた学習ができるようにする。</p> <p>◇教材一覧を各機関等へ知らせることにより貸し出しが拡大、HPにV T教材等の一覧を掲載し、教材の検索ができるようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 野外放送機器 39回</li> <li>・ スクリーン 40回</li> <li>・ パネル 13回</li> <li>・ スライド映写機 1回</li> <li>・ OHP, OHC 1回</li> <li>・ ビデオプロジェクター館外貸出し 45回</li> <li>・ ビデオテープ館内、館外貸出し本数 615本</li> </ul>	<p>B</p>
<p>学習ニーズに応じた学習機会の充実</p>	<p>60. いきいき人権ライフセミナー</p>	<p>●身近にある差別や人権問題をテーマとした学習の機会を提供し、人権問題の啓発を図ることにより、人権意識を持った市民を増やす。</p> <p>◇子どもに焦点を当て、様々な角度から人権問題を学習した。</p> <p>学習内容（4回）</p> <p>①7月17日（火） 参加：10人      題目 ステップ1（乳幼児～就学前）      初めてのボクです！ ～よろしく頼みます♪～      講師：瀧 信子（福岡こども短期大学 教授）</p> <p>②7月24日（火） 参加：12人      題目 ステップ2（小・中学生）      自分って何？ ～疾風怒涛の時期～      講師：原口 重利（筑紫野市教育委員会 教務課）</p> <p>③7月31日（火） 参加：5人      題目 ステップ3（高校・大学生）      どの道に進む？ ～イマドキの若者の進路事情～      講師：深瀬 信也（城南高校 進路指導担当）</p> <p>④8月7日（火） 参加：13人      題目 ステップ4（まとめ）      今日まで、そして明日から ～子どもと私のいい関係～      講師：白水昭道（筑紫野市教育委員会 学校教育課 教科促進指導員）</p>	<p>B</p>
<p>学習ニーズに応じた学習機会の充実</p>	<p>61. まちをみつめよう学級</p>	<p>●身近な生活課題を学習し「まちの政治」を正しく理解し、明るい選挙の推進を図るとともに、地域のリーダーを育成する。</p> <p>◇選挙や防犯防災、街づくりのための学習を行った。</p> <p>学習内容      選挙管理委員会事務局との共催事業      今年度のテーマ：教育・福祉について 受講生：25人      ○年間実績</p>	<p>B</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5月16日（水） 参加20人 題目：開級式 ～年間学習計画他～ 講師：萩尾 勝之（戦略企画課）</li> <li>・ 6月20日（水） 参加17人 題目：選挙について 講師：森敬（筑紫野市選挙管理委員会事務局）</li> <li>・ 7月18日（水） 参加16人 題目：福祉とまちづくり 講師：山崎安則（筑紫女学園大学教授）</li> <li>・ 8月22日（水） 参加19人 題目：ふくおか県政出前講座 ～ひとり暮らし高齢者の見守り活動～ 講師：野田 勝宏（県福祉労働部福祉総務課）</li> <li>・ 9月19日（水） 参加18人 題目：館外学習 場所：玄海エネルギーパーク、天山揚水式発電所</li> <li>・ 10月17日（水） 参加19人 題目：税について 講師：阿部 佐智子（筑紫税務署）・郷原 有二郎（税務課）</li> <li>・ 10月24日（水） 参加20人 題目：筑紫地区政治学級生社会科見学 場所：博多埠頭ターミナル・香椎コンテナポート</li> <li>・ 11月21日（水） 参加17人 題目：筑紫野市総合計画について 講師：高木 伸泰（戦略企画課）</li> <li>・ 12月20日（木） 参加14人 題目：筑紫地区政治学級生リーダー研修 講師：斎藤 文男（九州大学名誉教授）</li> <li>・ 1月16日（水） 参加17人 題目：館外学習 場所：カミーリヤ・福岡共同公文書館</li> <li>・ 2月20日（水） 参加17人 題目：社協の仕組み、筑紫野市の高齢者福祉の現状 講師：久保山 徹（筑紫野市社会福祉協議会）</li> <li>・ 3月13日（水） 参加18人 題目：閉級式 ～年間反省会～</li> </ul>	
学習ニーズに応じた学習機会の充実	62. コミュニティ主催事業	●地域の豊かな学習資源を生かした学習機会の提供をはかり、学習の成果を活かして、地域やコミュニティ施設における生涯学習活動や地域活動に参画する。	A

		<p>◇郷土の歴史や健康、料理など地域や生活に密着した講座を行なった。</p> <p>講座内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>講座数</th> <th>参加者数</th> <th>延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・二日市コミセン</td> <td>7講座</td> <td>186人</td> <td>1,500人</td> </tr> <tr> <td>講座名</td> <td colspan="3">手話教室、夏休み家族講座、健康教室など</td> </tr> <tr> <td>・山口コミセン</td> <td>7講座</td> <td>146人</td> <td>1,148人</td> </tr> <tr> <td>講座名</td> <td colspan="3">山口歴史探訪、夏休み子ども自然教室など</td> </tr> <tr> <td>・御笠コミセン</td> <td>10講座</td> <td>372人</td> <td>1,661人</td> </tr> <tr> <td>講座名</td> <td colspan="3">シニア音楽サロン、学んでみよう！介護など</td> </tr> <tr> <td>・山家コミセン</td> <td>13講座</td> <td>266人</td> <td>2,421人</td> </tr> <tr> <td>講座名</td> <td colspan="3">すこやか健康クラブ、ちくしの歴史さんぽなど</td> </tr> <tr> <td>・筑紫多目的集会所</td> <td>11講座</td> <td>670人</td> <td>2,275人</td> </tr> <tr> <td>講座名</td> <td colspan="3">筑紫自然塾、郷土史講座など</td> </tr> <tr> <td>・筑紫南コミセン</td> <td>12講座</td> <td>529人</td> <td>2,828人</td> </tr> <tr> <td>講座名</td> <td colspan="3">はつらつウォーキング、親子でエンジョイなど</td> </tr> <tr> <td>・合同主催講座</td> <td>1講座</td> <td>56人</td> <td>56人</td> </tr> <tr> <td>講座名</td> <td colspan="3">チャレンジ・ザ・ドミノ(8月26日)</td> </tr> <tr> <td>6館合計</td> <td>61講座</td> <td>2,225人</td> <td>11,889人</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	講座数	参加者数	延人数	・二日市コミセン	7講座	186人	1,500人	講座名	手話教室、夏休み家族講座、健康教室など			・山口コミセン	7講座	146人	1,148人	講座名	山口歴史探訪、夏休み子ども自然教室など			・御笠コミセン	10講座	372人	1,661人	講座名	シニア音楽サロン、学んでみよう！介護など			・山家コミセン	13講座	266人	2,421人	講座名	すこやか健康クラブ、ちくしの歴史さんぽなど			・筑紫多目的集会所	11講座	670人	2,275人	講座名	筑紫自然塾、郷土史講座など			・筑紫南コミセン	12講座	529人	2,828人	講座名	はつらつウォーキング、親子でエンジョイなど			・合同主催講座	1講座	56人	56人	講座名	チャレンジ・ザ・ドミノ(8月26日)			6館合計	61講座	2,225人	11,889人	
施設名	講座数	参加者数	延人数																																																																
・二日市コミセン	7講座	186人	1,500人																																																																
講座名	手話教室、夏休み家族講座、健康教室など																																																																		
・山口コミセン	7講座	146人	1,148人																																																																
講座名	山口歴史探訪、夏休み子ども自然教室など																																																																		
・御笠コミセン	10講座	372人	1,661人																																																																
講座名	シニア音楽サロン、学んでみよう！介護など																																																																		
・山家コミセン	13講座	266人	2,421人																																																																
講座名	すこやか健康クラブ、ちくしの歴史さんぽなど																																																																		
・筑紫多目的集会所	11講座	670人	2,275人																																																																
講座名	筑紫自然塾、郷土史講座など																																																																		
・筑紫南コミセン	12講座	529人	2,828人																																																																
講座名	はつらつウォーキング、親子でエンジョイなど																																																																		
・合同主催講座	1講座	56人	56人																																																																
講座名	チャレンジ・ザ・ドミノ(8月26日)																																																																		
6館合計	61講座	2,225人	11,889人																																																																
学習ニーズに応じた学習機会の充実	63. ちくしの文化講座	<p>●市民の学習ニーズに応じた学習の機会が提供され、市民の学習活動が行われている。</p> <p>◇市民の様々なニーズに応じた学習を提供した。</p> <p>講座内容</p> <p>①趣味教養講座 808人(定員1,231人)延4,905人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期講座 : 39講座</li> <li>・1日体験講座 : 7講座</li> </ul> <p>(ジュニア講座・音楽講座・暮らし実用講座・手芸工芸講座・外国語講座・歴史講座など)</p> <p>②料理講座23講座 300人(定員522人)延474人</p> <p>③パソコン講座27講座 245人(定員486人)延997人</p>	A																																																																
学習ニーズに応じた学習機会の充実	64. 「つくし紫」文化塾	<p>「つくし紫」文化塾2012</p> <p>●日本の芸能の中から広く庶民に親しまれてきた「語りの文化」にスポットを当てる。今では身近に聴く機会も少なくなった「語りの文化」。その“豊饒なる世界”に分け入って語りの魅力を再発見する。※筑紫野市文化会館との共同事業</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>①10/ 8(月・祝)</td> <td>筑紫琵琶と浄瑠璃の世界</td> <td>来場者208人</td> </tr> <tr> <td>②11/10(土)</td> <td>講談 神田紅と福岡紅塾の人々</td> <td>来場者162人</td> </tr> <tr> <td>③12/ 1(土)</td> <td>現代の語り</td> <td>来場者127人</td> </tr> </tbody> </table>	①10/ 8(月・祝)	筑紫琵琶と浄瑠璃の世界	来場者208人	②11/10(土)	講談 神田紅と福岡紅塾の人々	来場者162人	③12/ 1(土)	現代の語り	来場者127人	A																																																							
①10/ 8(月・祝)	筑紫琵琶と浄瑠璃の世界	来場者208人																																																																	
②11/10(土)	講談 神田紅と福岡紅塾の人々	来場者162人																																																																	
③12/ 1(土)	現代の語り	来場者127人																																																																	

<p>学習ニーズに応じた学習機会の充実</p>	<p>65. 生活学校連絡会 (補助金)</p>	<p>●生活学校相互の連絡をはじめ生活学校運営の情報交換を行い消費生活の向上を図る。</p> <p>◇各生活学校の運営や活動を協議し消費生活の向上に取り組む運動を今後も継続していく。</p> <p>環境・教育・福祉・くらし等の諸問題についての取組みを行っていく。</p> <p>①筑婦生活学校の主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題の学習</li> <li>・廃油を利用したの石鹸作り</li> <li>・天拝山ロードレースの支援</li> <li>・食の安全性についての学習</li> <li>・植樹活動への参加</li> <li>・古紙回収</li> </ul> <p>※みかさ生活学校については、22年度から廃校</p>	<p>B</p>
<p>学習ニーズに応じた学習機会の充実</p>	<p>66. 女性大学講座(補助金)</p>	<p>●趣味的なものから学術的なものまで多面にわたる講座を開催することにより女性の地位向上を図る。</p> <p>◇女性の地位向上に向け、様々な講座が実施された。</p> <p>講座内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 毎週火曜日 ゴルフ・洋裁教室</li> <li>② 毎週水曜日 洋裁・リフォーム教室</li> <li>③ 第1・2・3月曜日 社交ダンス・ハワイアンフラダンス 実用書道・卓球教室1、2</li> <li>④ 第1・2・3火曜日 日舞教室</li> <li>⑤ 第1・2・3水曜日 民謡・三味線・カラオケ・太極拳・卓球教室</li> <li>⑥ 第1・2・3木曜日 太極拳・健康教室・謡曲教室</li> <li>⑦ 第1・2・3金曜日 日舞教室</li> <li>⑧ 第2・3・4金曜日 歌謡教室</li> <li>⑨ 第1・2・3土曜日 詩吟教室</li> <li>⑩ 第1・3火曜日 生花教室</li> <li>⑪ 第1・3木曜日 生花教室・茶道教室</li> <li>⑫ 第1・3金曜日 かな書道・歌謡教室</li> <li>⑬ 第2・4月曜日 パッチワーク教室</li> <li>⑭ 第2・4火曜日 コーラス</li> <li>⑮ 第2・4水曜日 トールペイント</li> <li>⑯ 第2・4木曜日 夜間ペン、かな書道・トールペイント</li> <li>⑰ 第2・4金曜日 ペン習字1、2・茶道・洋画・水墨画・手編</li> <li>⑱ 第2・4土曜日 書道入門</li> <li>⑲ 第2水曜日 おしゃれクッキング、歌謡曲</li> <li>⑳ 第4水曜日 男性料理専科</li> </ul>	<p>A</p>



<p>学習ニーズに応じた学習機会の充実</p>	<p>67. 生涯学習センター自主学習グループ連絡会補助事業</p>	<p>●自主学習グループの成果を持ち寄り、市民に公開・交流を行う。</p> <p>◇活動内容</p> <p>①自主学習グループまつり（生涯学習フェスティバルに参画）実行委員会を結成し5回開催（反省会を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ステージ発表 34グループ</li> <li>・作品展示 13グループ</li> <li>・バザー出展 5グループ</li> <li>・グループ紹介</li> </ul> <p>②館外学習(128人) 下関市・長府市 5月31日</p> <p>③館内学習(25人) 認知症についての学習会 2月26日</p> <p>④総会 1回 ・四役会 10回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会 11回</li> <li>代表者会 7回</li> </ul>	<p>A</p>
<p>学習ニーズに応じた学習機会の充実</p>	<p>68. 筑紫南コミュニティセンター図書室運営</p>	<p>●図書室の事業を活用し、学習活動や地域住民の交流により地域づくりが展開される。</p> <p>◇市民協働事業として、平成20年度から「はらっぱの会」に委託し、図書室の運営や地域づくり・人づくりのための事業を行なった。</p> <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書室の開館日数 245日</li> <li>・図書室利用者数 18,466人</li> <li>・図書貸し出し冊数 27,379冊</li> <li>・図書室主催講座 39回</li> </ul> <p>講座内容：布で作る絵本とおもちゃ作り教室など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・折り紙教室 46回</li> <li>・すこやか広場（育児相談） 3回</li> <li>・講演会 3回</li> <li>・出張おはなし会 13回</li> </ul>	<p>A</p>
<p>家庭・地域の教育力を高める教育活動の充実</p>	<p>69. 生涯学習ボランティア事業</p>	<p>●市民がボランティアバンク事業を活用し、地域づくりや学習活動が展開されている。</p> <p>◇市民協働事業として、平成18年度から「筑紫野市ボランティアバンクの会」に委託し、様々な活動を行なった。</p> <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの登録、派遣事業（学習相談・コーディネート）</li> <li>・ボランティアバンク情報の提供、発信（HP・広報誌の発行など）</li> <li>・ボランティア活動の支援</li> <li>・地域活性化事業「このゆびとまれ」 場所 市内各コミセン</li> <li>・ボランティア研修会・学習会 年3回</li> </ul> <p>①7月22日（日） 参加24人</p> <p>②10月13日（土） 参加26人</p> <p>③1月23日（水） 参加92人</p> <p>平成24年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア登録者 1,493人</li> <li>個人 1,036人</li> <li>団体 40グループ（457人）</li> </ul>	<p>A</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア派遣件数 301件</li> <li>・ボランティア派遣人数 延4,348人</li> <li>・市民利用者数 延 82,038人</li> </ul>	
家庭・地域の教育力を高める教育活動の充実	70. 生涯学習フェスティバル	<p>●学習グループが日頃の学習の成果を発表することができ、多くの市民の学習意識が向上する。</p> <p>◇様々な機関団体や学習グループが集い、連携しながら、学習成果の発表の場、交流の場として、作品展示、ステージ発表、バザーなどを行った。また、人権、男女共同参画など行政啓発活動も行った。</p> <p>☆日 時 平成24年10月27～28日(土・日曜日)</p> <p>☆参加人数 約5,000人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加団体(人数)112団体 1,700人</li> <li>・観覧者数 2日延べ 8,000人</li> </ul> <p>①実行委員会 6回</p> <p>②企画会議 12回</p> <p>③各担当会議 19回</p> <p style="padding-left: 40px;">内訳 イベント担当会議 5回  ステージ担当会議 4回  会場用具担当会議 5回  広報受付担当会議 5回</p>	B
家庭・地域の教育力を高める教育活動の充実	71. 市民大学講座	<p>●市民の学習機会とニーズに応え生涯学習の推進に努めることにより、家庭や地域の教育力が高まる。</p> <p>◇学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 6月11日(月) 参加79人  テーマ:「いのち」を考える  講師:林 力(元九州大学非常勤講師)</li> <li>・第2回 7月2日(月) 参加87人  テーマ:政局と総選挙のゆくえ  講師:藪野祐三(九州大学名誉教授)</li> <li>・第3回 8月6日(月) 参加78人  テーマ:過去と未来を繋いで～太宰府・筑紫野の歴史と自然～  講師:西高辻 信宏(太宰府天満宮 権宮司)</li> <li>・第4回 9月3日(月) 参加80人  テーマ:イスラエルで考えたこと  講師:飯田栄彦(作家)</li> <li>・第5回 10月1日(月) 参加70人  テーマ:肺がんと女性  講師:瀬戸 貴司(国立病院機構九州がんセンター呼吸器腫瘍科)</li> <li>・第6回 11月5日(月) 参加76人  テーマ:憲法 この一年  講師:横田耕一(九州大学名誉教授)</li> </ul>	A

		<p>・第7回 12月3日(月) 参加70人          テーマ:新聞から読む世界と日本          講師:安武秀明(西日本新聞社報道センター長)</p> <p>・第8回 3月4日(月) 参加60人          テーマ:クララ和紙を作る          講師:狩野啓子(久留米大学教授)</p>	
家庭・地域の教育力を高める教育活動の充実	72. 家庭教育学級	<p>●『子どもの人権を守り、健全な成長発達に責任を果たせる親となる』ことを目的とする。家庭教育学級間の情報交流を行い、合同企画事業を実施することにより、各家庭教育学級における活発な学習活動により家庭の教育力の向上を図る。</p> <p>◇より良い子育てを目指し、親として教育力を高める為の様々な学習会や情報交流会を計画的、継続的且つ集団的にを行い、保護者間のつながりの強化や家庭の教育力の向上を図った。</p> <p>現在、市内各小学校11学級、中学校5学級、夜の学級1学級          計17学級、学級生数457名</p> <p>●事業実績</p> <p>1 17学級全体での学習活動</p> <p>①合同開講式 5月 講演会 参加 189人          子どもたちの笑顔を守る～大人たちがつながり合おう～          講師:坂口 明夫(大牟田市子ども家庭支援センター「あまぎやま」主任相談員)</p> <p>②合同レクリエーション 6月 参加 195人          (審判講習・練習日 参加210人)          実技講師 3人(インストラクター・スポーツ推進委員)</p> <p>③合同研修会 11月 *全体会 参加 244人          心が風邪をひくとき - “安心感”と自立-          講師:吉村 春生 臨床心理士          *3分科会 参加 129人          講師:緒方玲子、斎藤真人、宮崎司都子</p> <p>2 各学級での学習活動</p> <p>4月 学級生募集 5月 各学級での開講式          6月より各学級で各々学級プログラムに沿って6回～10回学習会実施          年間 計 126回 参加者総数 2,811人</p> <p>3 家庭教育学級連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・17学級より3～7名の役員、計72人(内 本部役員5人)</li> <li>・17学級間の活動促進、情報交換、相互の連携と親睦を図るため毎月1回定例会議、役員会を実施。研修会なども実施し、家庭教育学級の充実に取り組んでいる。</li> </ul> <p>4 文集 あゆみ編集・発行</p> <p>教育長の言葉、新転任の校長先生より、推進方策、連絡会規約合同行事、17学級の各学習内容など1年間の活動状況をまとめた95頁から</p>	B

		<p>なる冊子。</p> <p>1年間の学級の取り組みをふり返り、その成果や問題点を整理し、次年度につなげる活動のあり方や内容の充実を図るためのものがある。学級生全員で作り上げる。</p>	
家庭・地域のコミュニティ力を高める教育活動の充実	73. いきいき元気人養成講座事業	<p>●地域コミュニティ主導のいきいきと輝く街づくりを実践する人材の育成や資質の向上を図る。</p> <p>◇リーダー課程の受講資格取得やサポーターの資格を得るための活動を行なった。</p> <p>活動内容</p> <p>(1) 受講生数 街づくりサポーター課程者 6人 街づくりサポーター更新課程者 20人</p> <p>(2) 学習会 15日間</p> <p>①講義 5回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの実践例に学ぶ(2回)</li> <li>・筑紫野市のまちづくりを知ろう(1回)</li> <li>・プログラム作成の基礎知識(1回)</li> <li>・まとめ(1回)</li> </ul> <p>②演習 6回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動プログラム作成(4回)</li> <li>・グループワーク(2回)</li> </ul> <p>③実習 3回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイスブレイキングの手法を学ぶ(1回)</li> <li>・プログラム実習・実践(2回)</li> </ul> <p>④先進地視察 1回 場所:飯塚市「熟年まなび塾」 参加11人</p> <p>⑤講演 1回 内容:「わたしが輝くまちづくり」 ～チャンス,チャレンジ,チェンジ～ 参加17人</p> <p>(3)社会参加活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習フェスティバルでプログラムの企画、運営「文字さがしラリー」</li> <li>・「ひかり通学合宿」ボランティア支援</li> </ul> <p>※講座運営を前年度受講生に委ねる。</p>	A
文化財・文化芸術活動の充実	74. ちくしの子ども劇場補助金	<p>●地域の中で子どもたちがいきいきとした「子ども時代」を過ごすための環境づくりを目指す。また、子どもたちに芸術に親しむ心と感受性を育てるとともに、芸術文化活動への参加意欲を喚起する。</p> <p>◇子どもの諸活動に関する事業(子どもキャンプ等)、子どものための優れた舞台芸術関連事業(11作品)、子どもの表現活動(わくわくステージ)、子どもの権利条約普及啓発事業、子育て支援関連事業(パートナー講座)などを通して子ども達が生き生きと活動できる環境を提供することができた。</p>	A

文化財・文化 芸術活動の充 実	75. 文化団体連合会 補助事業	●連合会への加盟団体が増加し、市民の芸術文化事業が盛んになること。連合会の事業が継続され、多様な事業がおこなわれること。安定した運営がおこなわれること。	B
		◇美術展、研修を実施すると共に、県文化団体連合会福岡Ⅱブロック in 太宰府市に参加。	
文化財・文化 芸術活動の充 実	76. 史跡整備管理事 業	●文化財の保存・管理を適正に行う。	A
		◇宝満山遺跡（東院谷遺跡群）の防災工事をおこなった。 史跡地内の草刈作業等を地域の活動団体に委託し、地域の文化財に対しての意識付けを行った。	
文化財・文化 芸術活動の充 実	77. ちくしの歴史・文 化発信事業	●地域への理解を深め、市民の自治能力の向上を図る。 ①市民に対し、学習意欲の喚起を促し、地域学習の推進を図る。 ②市の施策・事業や市民活動に対し、資料提供、助言を行なうと 伴にこれを支援する。 ③学校教育に対し、資料提供、並びに教育支援を行なう。	A
		◇企画展/4事業 ロビー展示/通年 学芸員関係/3事業 講座等 ・筑紫野織りの会（第1・3金曜日） ・回想法(随時) / ・歴史講座(8月5日・8月26日・10月21日・11月11日) ・市民歴史ゼミナール（1月26日・2月23日・3月23日） ・キッズ歴史講座（7月28日・8月3日） 支援事業/10事業 共同事業/4事業 学芸員派遣/29件 資料貸出/417点 資料閲覧/167点 ・市民協働事業・共同事業 企画展 ・武蔵寺と二日市温泉（4月28日～6月24日） ・「筑紫野市のなりたち」（7月14日～9月9日） ・「長崎街道・冷水峠越え400年」（10月6日～11月25日） ・ 昔の暮らし（12月22日～3月31日） ※市制施行40周年、長崎街道開通400年を記念し企画展を開催、市民の 関心が高く、多くの観覧者が訪れた。小学校への学習支援校も増え、 博物館の年間入館者は昨年より1,860名増加している。	
文化財・文化 芸術活動の充 実	78. 資料収集保管事 業	●資料を収集し、適切に保存・管理することにより、活用できる 状態にする。	B
		◇ガス燻蒸にくわえ、IPM（総合的有害生物管理）による日常管理の ため博物館モニタリングを行う。	

文化財・文化 芸術活動の充 実	79. ちくしの人形劇 まつり実行委員 会補助金	<p>●芸術作品の創作、人形劇の鑑賞を通して、ゆとりある心豊かな青少年・少女を育てる。</p> <p>◇ちくしの人形劇まつり（11月25日）参加者延べ1,870名 ◇人形劇サポーターズ講座（6月17日・7月15日・9月23日） 市の文化行事として定着し、入場制限をするほど参加者が多く、市民の関心が高い。今年度より今後の人形劇まつりをサポートする人材育成を目的とした講座を実施。</p>	A
文化財・文化 芸術活動の充 実	80. 山家岩戸神楽保 存会補助金	<p>●市指定無形民俗文化財「山家岩戸神楽」を保存・継承している保存会の活動が円滑に行われる。</p> <p>◇4月 市民劇「筑紫野ロマン飛行」出演、市制40周年記念式典出演 9月 飯塚市長崎街道開通400年記念式典出演 10月 神楽奉納、生涯学習フェスティバル出演 11月 山家地区文化祭出演 12月 原田小学校・山家小学校ゲストティーチャー 3月 二日市東小学校・二日市北小学校ゲストティーチャー 6～2月 山家小学校「神楽クラブ」指導</p>	A
文化財・文化 芸術活動の充 実	81. 市指定文化財（長 者の藤） 管理補助金	<p>●観光資源でもある市指定天然記念物「長者の藤」の育成保護が行える。</p> <p>◇4月 消毒（アブラムシ、毛虫、セン虫等の駆除） 5月 花房切り・廃棄、消毒（アブラムシ、毛虫、セン虫等の駆除） 7月 消毒（アブラムシ、毛虫、セン虫等の駆除） 11月 剪定、徒長づる・枯れ枝・苔等の除去と手入れ等 2月 施肥及び手入れ等、消毒（アブラムシ、毛虫、セン虫等の駆除） 3月 消毒（アブラムシ、毛虫、セン虫等の駆除）</p>	A
文化財・文化 芸術活動の充 実	82. 長崎街道開通4 00年記念事業 （補助金）	<p>●山家宿創設400年、長崎街道開設400年の記念事業を契機として市民に筑紫野市はどのようなところかという理解を促し、地域学習を通じた地域づくりを目指す契機とする。（小学校の児童は、地域のくらし、産業、歴史等の学習をしている。この学習を通して学んだものを地域に発信し、地域全体として文化創造の契機とする。）</p> <p>◇200万円を補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筑紫地区夢まつり</li> <li>・第6回山家宿まつり</li> <li>・夢むらさき検定</li> <li>・「長崎街道筑前六宿開通400年記念切手」販売</li> </ul>	A

文化財・文化芸術活動の充実	83. 長崎街道開通400年記念事業	<p>●筑紫野市が交通の要衝であることを市民に認識させ、地域の特色のある歴史的な文化資源を組み込んだ地域づくりに取り組んでもらう。</p> <p>◇本事業の補助団体「夢むらさきクロスロード400事業実行委員会」の事務局として、各地域のイベントを支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筑紫地区夢まつり</li> <li>・第6回山家宿まつり</li> <li>・夢むらさき検定</li> <li>・「長崎街道筑前六宿開通400年記念切手」販売</li> </ul>	A
文化財・文化芸術活動の充実	84. 阿志岐山城跡保存整備事業	<p>●阿志岐山城跡を一般公開できるようにし、市民が国指定の史跡を見学し、文化に親しみをもつことができる。</p> <p>◇「阿志岐山城跡保存整備専門委員会」を設置し、基本計画策定に取り掛かった。</p> <p>第12地点土塁の保存整備工事を行った。</p> <p>民有地（14筆）の公有化を図った。</p>	A
文化財・文化芸術活動の充実	85. 永岡地区遺跡確認調査	<p>●永岡公民館増築工事に伴う開発申請について、重要遺構（長丘駅・長岡城）の存在を確認するため、平成23年度から平成25年度まで確認調査を行う。</p> <p>◇長丘駅については、確定できる遺構が見つからなかった。</p>	A
文化財・文化芸術活動の充実	86. 阿志岐山城跡特別企画展事業	<p>●阿志岐山城跡の特別企画展を実施することにより、市民が国指定の史跡を学習し、文化に親しみをもつことができる。</p> <p>◇復元CGと地形模型を製作し、特別講座を実施した。</p>	A
文化財・文化芸術活動の充実	87. JR二日市駅地区文化財発掘調査事業	<p>●都市計画道路3.4.6次田大門線整備事業で破壊される埋蔵文化財を発掘調査することにより、記録保存という形で後世に残していく。</p> <p>◇JR二日市駅東口側の駅ビル建設に伴う開発協議に参加し、文化財発掘調査に係る提言をおこなった。</p> <p>次田大門線の開発に伴う文化財発掘調査をおこなった。</p>	A

社会教育施設の充実	88. 小地区公民館設置補助	<p>●小地区公民館が地域のまちづくりや生涯学習などの活動拠点施設となっている。</p> <p>◇地域における社会教育活動の振興を図るため、区が行なう小地区公民館の新築、改築及び修繕等の費用の補助を行なう。</p> <p>平成24年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新築及び改築 0件</li> <li>・増築 0件</li> <li>・用地購入 0件</li> <li>・修繕 11件 12,695千円</li> </ul>	A
社会教育施設の充実	89. 図書館運営事業	<p>●すべての市民、在勤、通学者、福岡都市圏住民が本に親しむ。</p> <p>◇平成24年度図書館運営事業指数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸出総冊数 775,279冊</li> <li>・利用者総数 149,888人</li> </ul> <p>講座等</p> <p>子どもの読書推進公演会1回、絵本講座2回、子どもと読書講座2回、夏休み子ども教室1回、夜間講演会1回、文化教養講座3回</p> <p>ブックスタート事業12回 定例おはなし会 105回</p> <p>移動図書館事業：39ステーション巡回</p>	A
社会教育施設の充実	90. 図書・視聴覚資料購入事業	<p>●文化と教養が高まる。</p> <p>図書資料等購入により読者の要望が満たされる。</p> <p>◇平成24年度図書・視聴覚購入事業</p> <p>*図書等購入費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書、視聴覚資料 19,547,138円</li> <li>・新聞、雑誌等 3,269,012円</li> </ul> <p>*書誌情報作成委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書誌、視聴覚情報作成委託料 2,539,075円</li> </ul>	A
社会教育施設の充実	91. 子どもの読書活動推進事業	<p>●「筑紫野市子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動を総合的に推進する。</p> <p>◇平成24年度事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筑紫野市子どもの読書活動推進会議 会議 2回</li> <li>視察（春日市民図書館） 1回</li> <li>・筑紫野市子どもの読書活動推進担当者部会 会議 3回</li> </ul>	A



生涯学習情報の共有化と充実	92. 生涯学習情報提供事業	<p>●生涯学習施設や学習に関する情報を得ることができる。</p> <p>◇「広報ちくしの」生涯学習情報 もやい 「広報ちくしの」中に2ページ掲載、月2回年間24回発行</p> <p>◇生涯学習情報誌もやい「学習情報号」 年度末に市内の公共施設に年1回配布（24ページ、8千部）</p> <p>◇生涯学習課関連ホームページ アクセス回数13,781回</p>	B
施策の総合推進	93. 筑紫地区社会教育振興協議会（公民館部会）	<p>●筑紫地区における公民館事業等の現状や課題などの情報交換を行い、公民館活動が活性化している。</p> <p>◇社会教育公民館事業についての学習会研修会や4市1町での事業の情報交換会などを行なった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館部会（5回）、研修会（筑紫地区公民館事業担当者等研修会）</li> <li>・福岡県公民館実践交流会 2月 春日市 参加者：20人</li> <li>・福岡地区公民館研修会 (筑紫地区公民館事業担当者等研修会も兼ねて実施) 2月 那珂川町 参加者：224人（内 筑紫野市18人）</li> </ul>	B
施策の総合推進	94. 小地区公民館連絡協議会補助事業	<p>●市内の各小地区公民館活動を充実させることにより、市民が学習活動、地域活動やボランティア活動に積極的に参加できるようになる。</p> <p>◇活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総会・五役会・理事会 回数（総会1回・五役会6回・理事会5回）</li> <li>・小地区公民館新任館長・主事等研修会 日時：6月16日（土） 参加者：71人</li> <li>・福岡県公民館大会 場所：北九州市八幡東区 日時：8月 2日（木） 参加者：21人</li> <li>・筑紫野市小公連・防犯連推進大会 場所：さんあいホール 日時：9月22日（土・祝） 参加者：241人</li> <li>・九州地区公民館研究大会 場所：熊本市 日時：8月30日（木）～31日（金） 参加者：22人</li> <li>・地区別視察研修会 <ul style="list-style-type: none"> <li>山家地区 日時：1月19日（土） 参加者：68人</li> <li>筑紫地区 日時：1月26日（土） 参加者：59人</li> <li>山口地区 日時：2月 2日（土） 参加者：42人</li> <li>二日市地区 日時：2月17日（日） 参加者：54人</li> <li>御笠地区 日時：2月23日（土） 参加者：45人</li> </ul> </li> <li>・福岡地区公民館研修会 場所：那珂川町 日時：2月16日（土） 参加者：18人</li> <li>・「公民館の歌」CD：各小地区公民館に配布</li> </ul>	A

<p>施策の総合推進</p>	<p>95. 小地区公民館主事設置補助事業</p>	<p>●地域における社会教育活動の振興を図るため、公民館主事を設置することで、生涯学習活動・地域活動が活性化し公民館が地域の交流の場や地域活動の拠点になる。</p> <p>◇地域における社会教育活動の振興を図るため、小地区公民館主事の設置を促進することを目的する。</p> <p>(主事 88人) 補助対象者数 86人 補助金額 補助対象主事数 24,000円 → 35人 36,000円 → 51人</p>	<p>B</p>
<p>施策の総合推進</p>	<p>96. 市立学校PTA協議会補助金</p>	<p>●各学校とPTAとの連携を深めることにより、児童・生徒の健全な育成と保護者・教職員の資質向及び教育の振興を図る。</p> <p>◇支援策として補助金432千円を交付した。(27千円×16校)</p> <p>協議会の活動内容 広報研修会、委員合同研修会、市長・教育委員会・校長・合同懇談会、スポーツ研修会、人権問題研修会</p>	<p>A</p>
<p>施策の総合推進</p>	<p>97. 市婦人会補助金</p>	<p>●女性の社会参加が促され、社会教育団体として活動を行い、地域に貢献している。</p> <p>◇女性の地位向上と社会参加をめざし、各機関団体と協力し、地域の福祉活動にも貢献した。 会員数550人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性大学(婦人会主催) 41学級</li> <li>・市民大学(委託事業) 8講座</li> <li>・女性問題講座 6講座</li> <li>青少年支援事業 5学級</li> <li>(小学生書道(A)(B)(C)・絵画・そろばん教室)</li> <li>・子育て支援事業 1学級(楽しくクッキング教室)</li> <li>・生活学校 7事業</li> <li>・婦人会同和教育推進 講座、研修会等に17回出席</li> <li>・消費者友の会 固形せっけんづくり</li> <li>・生涯学習フェスティバルに出店、展示、ステージ発表</li> <li>・古紙回収活動 6回 3,610kg</li> </ul>	<p>A</p>
<p>施策の総合推進</p>	<p>98. 各地区婦人会補助金</p>	<p>●女性の社会参加が促され、社会教育団体として活動を行い、地域に貢献している。</p> <p>◇二日市婦人会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権・環境・福祉問題の学習</li> <li>・環境活動(古紙回収、固形石鹸づくり)</li> <li>・体育祭、地域文化祭、敬老会などの地域での活動</li> </ul> <p>◇御笠コミュニティ女性会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月3日 館外視察研修会</li> </ul>	<p>B</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月30日 救急救命法講習会</li> <li>・ 9月18日 クッキング教室</li> <li>・ 10月7日 御笠地区市民体育祭 受付, 接待, トイレの見回り清掃, 総踊りを担当</li> <li>・ 10月31日 手芸教室</li> <li>・ 11月10～11日 御笠地区市民文化祭 体験コーナー担当 展示, 学習活動の紹介 吉木小学校区子どもアンビシャス広場に協力</li> <li>・ 12月26日 生け花教室</li> <li>・ 1月31日 クッキング教室</li> <li>・ 3月9日 男女共同参画推進学習会</li> </ul>	
施策の総合推進	99. 生涯学習推進事業（嘱託職員）	<p>●市民の協働による地域づくり、地域の教育力向上</p> <p>◇生涯学習・社会教育事業推進のため地域活動指導員および社会教育指導員を配置</p> <p>①社会教育指導員 11人</p> <p style="padding-left: 20px;">生涯学習課</p> <p style="padding-left: 40px;">生涯学習センター館長 1人</p> <p style="padding-left: 40px;">総務担当 2人</p> <p style="padding-left: 40px;">推進担当 5人</p> <p style="padding-left: 40px;">青少年担当 3人</p> <p>②地域活動指導員 2人</p>	A

#### 4. スポーツ・レクリエーションの推進

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	
スポーツ施設の充実	100. 中学校ナイター施設運営事業	●ナイター設備のある筑紫野中学校、筑山中学校の2校のグラウンドを夜間開放することにより、スポーツの場の提供と、生涯スポーツの振興を図る。	B
		◇利用者数：3,916人 (内訳) ・筑紫野中：2,629人 ・筑山中：1,287人	
スポーツ施設の充実	101. 小中学校開放体育施設運営事業	●小中学校体育施設を社会体育施設として開放し、各種スポーツの場の提供と、各種スポーツ団体及びグループの交流を促し、生涯スポーツの振興を図る。	B
		◇小中学校16校の開放を行った。 ・年度当初に、学校開放運営委員会を開催し、定期団体の利用調整を行った。 ・定期団体以外の利用者の利用調整の実施	
スポーツ施設の充実	102. 小学校プール市民開放事業	●多くの市民がプールを利用し、市民の体力向上と水泳の振興が図られる。	A
		◇利用可能プール：市内全小学校 11校 ・利用期間：夏期休暇期間（7月21日～8月12日） 20日間 ・利用時間：10時～17時（12時～13時は昼休み） 利用者数：21,298人 (内訳) 子ども19,972人、大人1,326人	
スポーツ施設の充実	103. 農業者トレーニングセンター運営事業	●スポーツの楽しさ、健康の増進等を図るため、多くの市民が利用できるよう適切な施設の提供をするとともに、講習会及び教室、イベントを開催する。	B
		◇定期利用登録団体数：46団体 ・全体利用者数 76,804人 内個人利用者数 15,458人 ・にこにこヘルシー教室 ・サマーチャレンジクラブ ・トレーニングルーム初回講習会 以上の教室開催やその他学校・地域からの要請に対し職員の派遣や講座等実施	

スポーツ施設の充実	104. 指定管理業務委託事業	<p>●民間に委託することにより、効率的な施設の管理を行い、経費の節減を図る。また、民間の知識や技術を取り入れることにより、市民に魅力のある施設の運営を行い、利用者の増大を図る。</p> <p>◇施設の維持管理・運営に関する業務を委託し、効率的な業務を行った。 [指定管理者に委託した施設]</p> <p>・各施設の利用状況</p> <table border="0"> <tr> <td>勤労青少年ホーム</td> <td>27,322人</td> </tr> <tr> <td>農業者トレーニングセンター</td> <td>76,804人</td> </tr> <tr> <td>筑紫運動広場</td> <td>27,098人</td> </tr> <tr> <td>山家スポーツ公園</td> <td>38,463人</td> </tr> <tr> <td>御笠運動広場</td> <td>24,020人</td> </tr> </table>	勤労青少年ホーム	27,322人	農業者トレーニングセンター	76,804人	筑紫運動広場	27,098人	山家スポーツ公園	38,463人	御笠運動広場	24,020人	A
勤労青少年ホーム	27,322人												
農業者トレーニングセンター	76,804人												
筑紫運動広場	27,098人												
山家スポーツ公園	38,463人												
御笠運動広場	24,020人												
年齢や体力に応じたスポーツの振興	105. 市体育協会補助金	<p>●体育協会を支援し、協会に加入する様々なスポーツ団体の活動を促進させることで、市民が年齢や体力に応じたスポーツに関わることが出来る環境づくりを推進し、スポーツの振興を図る。</p> <p>◇加盟団体数：22団体＋スポーツ少年団 会員数：5,977人</p> <p>・年1回の代議員総会、報告会、加盟団体長の会を開催し、定期的に理事会、執行部会、評議員会及び専門委員会を開催</p> <p>・主催事業として、「宝満つばきマラソン大会(延1,256人)・体協研修会(76名)・少年スポーツ指導者研修会(62名)等を実施している。年2回、広報「体協だより」を発行</p>	A										
年齢や体力に応じたスポーツの振興	106. 生涯スポーツ振興事業	<p>●生涯スポーツとして各種のスポーツ教室等を開催し、自分にあったスポーツを日常生活の中に取り入れる環境づくりをするため、委託事業として実施した。</p> <p>◇平成24年度 教室としては、ソフトテニス初心者(延べ48人)・初心者弓道(8人、延べ67人)・1日テニス(17人)・サッカースクール(60人、延べ5,400人)・楽しいソフトボール(131人)が実施された。また、大会は、宝満つばきマラソン大会(延べ1,256人)及び剣道大会(539人)の2大会が開催された。</p>	B										
年齢や体力に応じたスポーツの振興	107. 各校区体育振興育成補助金	<p>●各校区体育振興会を支援し、各校区の体育振興会で市民一人ひとりが、積極的に参加できるスポーツ・レクリエーションの年間事業を企画、実施し、年齢や体力に応じたスポーツの振興と校区内住民の親睦を図る。</p> <p>◇10校区の体育振興会に各60,000円を補助している。</p>	B										

年齢や体力に応じたスポーツの振興	108. 市民体育祭補助金	<p>●市民がスポーツ・レクリエーションをする機会をつくり、多くの市民が参加するような市民体育祭を開催する。</p> <p>◇平成24年10月7日（日）に一斉に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天拝小学校区（5月27日）、筑紫小学校区（各行政区ごとに実施） 筑紫東小学校区（10月14日）</li> <li>・8校区は、ウォークラリーや運動会形式で開催（阿志岐小と吉木小は、合同で開催）</li> <li>・各校区補助金：4,090千円</li> <li>・市民体育祭参加者数：12,981人</li> </ul>	B														
年齢や体力に応じたスポーツの振興	109. 天拝山ロードレース大会実行委員会補助金	<p>●ロードレースを開催することにより、生涯スポーツを推進し、健康の増進及び体力の向上につなげる。</p> <p>◇平成24年11月23日に実施</p> <p>選手参加者</p> <table border="0"> <tr> <td>10.0km</td> <td>117人</td> </tr> <tr> <td>5.0km</td> <td>359人</td> </tr> <tr> <td>2.5km</td> <td>264人</td> </tr> <tr> <td>万葉の筑紫路</td> <td>210人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>950人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ等</td> <td>293人</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>1,243人</td> </tr> </table>	10.0km	117人	5.0km	359人	2.5km	264人	万葉の筑紫路	210人	計	950人	スタッフ等	293人	総計	1,243人	A
10.0km	117人																
5.0km	359人																
2.5km	264人																
万葉の筑紫路	210人																
計	950人																
スタッフ等	293人																
総計	1,243人																
年齢や体力に応じたスポーツの振興	110. 各種事業・教室開催事業	<p>●市民のだれもが、いつでも、どこでも、自発的・主体的にスポーツに親しむことができる環境づくりとして開催している。</p> <p>◇大会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳大会：延べ264人参加</li> <li>・市民駅伝大会：422人参加</li> <li>・スポレク・フェスタ：1,740人参加（教室）</li> <li>・生涯スポーツセミナー 98人参加</li> <li>・福祉レクリエーション講習会 59人参加</li> <li>・サマーチャレンジクラブ 72人参加</li> <li>・にこにこヘルシー教室 308人参加</li> </ul>	B														
幼児・児童・生徒のスポーツ機会の充実	111. 筑紫野市立小学校体育施設一般開放事業	<p>●子どもたちの居場所づくりとして、市内小学校11校のグラウンド及び体育館を毎週土曜日の午前中開放している。</p> <p>◇体育館・運動場開放延べ日数：376日</p> <p>利用者数延べ人数 12,817人（1日当り利用者数平均：34人）</p>	B														

指導者・ボランティアの育成	112. スポーツ推進委員運営事業	<p>●スポーツ推進委員の能力を向上させ、地域住民に対してスポーツに関する指導・助言やスポーツに関する事業の支援を行うことにより、スポーツの振興を図る。</p>	B
		<p>◇各校区体育振興会等から推薦された25人と学識経験者2人の計27人をスポーツ推進委員として委嘱する。</p> <p>企画委員会（委員長、専門部長）及びスポーツ推進委員会を毎月それぞれ1回開催し、各地区の連絡調整やスポーツ推進委員の研修、市や団体の行事運営等への協力を行った。また、地域活動への実技指導等も実施した。</p>	
施策の総合推進	113. 全国大会出場補助金	<p>●全国大会に出場する個人、団体に対して、筑紫野市における社会体育に寄与し、今後の貢献に期待できるものとして支援する。個人に20,000円、団体に200,000円補助する。</p>	B
		<p>◇全国大会等出場者への支援</p> <p>補助金交付者 個人64人 団体 3団体</p>	

認めあい、共に生きる人権尊重社会の醸成

## 5. 人権意識の向上

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	
市民・企業への人権意識の啓発	114. 人権問題啓発実行委員会運営事業	●すべての市民に人権意識の大切さを理解してもらう。	A
		◇82行政区のうち80行政区で市民懇談会が開催された。機関団体研修については、21機関団体のうち20団体で実施。	
市民・企業への人権意識の啓発	115. 人権・同和問題啓発冊子の編集・発行事業	●人権問題に対する正しい認識と人権感覚豊かな市民の育成によって、人権が侵害されない市民生活ができるようになっている。	B
		◇・解放への一歩第39集 10月15日発刊 ・広報「人権問題特集号」12月1日発刊 市内全世帯配布 ●発刊部数 各40,000部 ・人権作文集「くさび」3月1日発刊 児童・生徒を介してPTA及び公共施設を通して配布 ●発行部数 10,600部	
市民・企業への人権意識の啓発	116. 行政区人権問題推進委員会育成助成金	●市民の共同生活の場である行政区ごとに組織的な人権問題啓発活動の推進と学習活動を展開することによって、人権問題の早期解決を目指し、市民一人ひとりが人権意識の高揚に努め、人権を守り、差別をしない、させない、豊かな地域社会を実現する。	A
		◇82行政区すべてにおいて行政区人権問題啓発推進委員会が組織され、80行政区で市民懇談会が行われた。小学校区ごとの推進員研修会は、11小学校区中、10小学校区で実施した。	
同和問題の解決	117. 教科促進指導事業	●同和地区の児童生徒をはじめ、学習支援を要する児童生徒の学力を向上させる。	A
		◇市内隣保館を中心に嘱託職員を3名配置し、児童生徒の学力向上と、その達成のための基本的な生活習慣の改善を、家庭との連携を図りながら個に応じて指導している。	



同和問題の解決	118. 同和問題啓発強調月間事業	<p>●同和問題の解決を、市民が自らの課題として捉え、差別を許さない意識の徹底を図るため各種の啓発事業を集中的に実施し、差別を許さない社会づくりの構築に向けて取り組みを展開する。</p>	A																	
		<p>◇7月同和問題講演会（参加者 733名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本「いのちをいただく」の朗読と講演 朗読 KBC九州朝日放送キャスター 徳永 玲子さん 講師 熊本市食肉加工センター勤務 坂本 義喜さん</li> <li>・街頭啓発</li> <li>・各課等での同和問題研修会の実施</li> </ul> <p>その他の事業を事業計画に基づき実施。</p>																		
同和問題の解決	119. 筑紫野市同和教育研究会運営費補助金	<p>●筑紫野市同和教育研究会の運営を助成し、部落差別をはじめとするあらゆる差別からの解放を目指す人権・同和教育を実践している。</p>	A																	
		<p>◇年間事業計画に基づき、研究大会、学習会、講演会等を開催</p>																		
同和問題の解決	120. 識字学級	<p>●同和地区の住民が文字を学び、自己実現のための様々な学習により差別に負けない力量が培われている。</p>	A																	
		<p>◇学習内容</p> <p>①文字学習を中心とした学習</p> <p>②人権問題を基本に生活文化向上の学習</p> <p>③人権尊重のまちづくりを推進するための学習</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;"></th> <th style="width: 20%; text-align: center;">担当者</th> <th style="width: 40%; text-align: center;">学級生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京町識字通信</td> <td style="text-align: center;">82人</td> <td style="text-align: center;">103人</td> </tr> <tr> <td>美咲大学</td> <td style="text-align: center;">63人</td> <td style="text-align: center;">105人</td> </tr> <tr> <td>岡田解放学級</td> <td style="text-align: center;">31人</td> <td style="text-align: center;">15人</td> </tr> <tr> <td>永岡識字学級</td> <td style="text-align: center;">27人</td> <td style="text-align: center;">65人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">203人</td> <td style="text-align: center;">288人</td> </tr> </tbody> </table>			担当者	学級生	京町識字通信	82人	103人	美咲大学	63人	105人	岡田解放学級	31人	15人	永岡識字学級	27人	65人	合 計	203人
	担当者	学級生																		
京町識字通信	82人	103人																		
美咲大学	63人	105人																		
岡田解放学級	31人	15人																		
永岡識字学級	27人	65人																		
合 計	203人	288人																		
同和問題の解決	121. 少年期人権啓発事業	<p>●日常的な子ども会活動や社会体験等を通して、自らの社会的立場を自覚し、差別に負けない、許さない強い意志と実践力をもった子どもの育成を目的とする。</p>	A																	
		<p>◇活動内容</p> <p>学習支援活動をはじめ、社会体験を豊かにし、人を大切にする支援活動を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 10%;">京町</td> <td style="width: 10%;">指導者数</td> <td style="width: 10%;">36人</td> <td style="width: 10%;">子どもの数</td> <td style="width: 10%;">16人</td> </tr> <tr> <td>美咲</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">28人</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">29人</td> </tr> <tr> <td>岡田</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">23人</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">7人</td> </tr> <tr> <td>永岡</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">23人</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">6人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※指導者については、人権政策課児童センター相談員、学校教育課教科促進指導員、小・中学校教職員</p>		京町	指導者数	36人	子どもの数	16人	美咲	〃	28人	〃	29人	岡田	〃	23人	〃	7人	永岡	〃
京町	指導者数	36人	子どもの数	16人																
美咲	〃	28人	〃	29人																
岡田	〃	23人	〃	7人																
永岡	〃	23人	〃	6人																

同和問題の解決	122. 各部運営学級育成補助金 (女性部)	●同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地区住民の生活の向上を図る。	A
		◇活動内容 実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。 女性部 226人 延べ人数 ①研修会(女性集会・識字担当者研修会) 679人 ②全体学習会 103人 ③健康学習会(栄養教室) 41人 ④福祉学習会(福祉対策会議) 37人 ⑤地域活動(子どもまつり・遊ゆうまつり) 25人 ⑥識字学級活動 2,439人 ⑦懇談会・交流会 28人 合 計 3,352人	
同和問題の解決	123. 各部運営学級育成補助金 (子ども会)	●同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地区住民の生活の向上を図る。	A
		◇活動内容 実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。 子ども会 70人 延べ人数 ①日常的活動(センターでの学習) 6,090人 ②合同学習、研修 231人 ③体験活動(合宿他) 76人 ④交流会(保育所・海水浴) 65人 ⑤野外活動(平和行進・キャンプ) 109人 ⑥地域活動(子どもまつり・オータム・カヌー) 23人 ⑦各種活動(ダンス教室・太鼓教室) 208人 合 計 6,802人	
同和問題の解決	124. 各部運営学級育成補助金(老人部)	●同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地区住民の生活の向上を図る。	A
		◇活動内容 実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。 老人部 200人 延べ人数 ①定例学習会 1,016人 ②老人識字 287人 ③研修会(館外で学習) 259人 ④交流会(保育所・子ども会との交流) 299人 ⑤各種教室(長生きがい教室) 521人 ⑥地域活動(子どもまつり奉仕活動) 31人 合 計 2,413人	

同和問題の解決	125. 各部運営学級育成補助金（成年）	<p>●同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地区住民の生活の向上を図る。</p> <p>◇活動内容 実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。 成人男子 222人</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: right;">延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①役員会・運営委員会・全体学習会・定例学習会</td> <td style="text-align: right;">2,178人</td> </tr> <tr> <td>②各種学習会（館外・パソコン・健康学習会他）</td> <td style="text-align: right;">351人</td> </tr> <tr> <td>③研修会（人権・同和問題講演会）</td> <td style="text-align: right;">33人</td> </tr> <tr> <td>④交流会（視察・地域・保育所・子ども会との交流）</td> <td style="text-align: right;">201人</td> </tr> <tr> <td>⑤地域活動（子どもまつり・カヌー・オータム奉仕活動）</td> <td style="text-align: right;">3,398人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">6,161人</td> </tr> </tbody> </table>		延べ人数	①役員会・運営委員会・全体学習会・定例学習会	2,178人	②各種学習会（館外・パソコン・健康学習会他）	351人	③研修会（人権・同和問題講演会）	33人	④交流会（視察・地域・保育所・子ども会との交流）	201人	⑤地域活動（子どもまつり・カヌー・オータム奉仕活動）	3,398人	合 計	6,161人	A						
	延べ人数																						
①役員会・運営委員会・全体学習会・定例学習会	2,178人																						
②各種学習会（館外・パソコン・健康学習会他）	351人																						
③研修会（人権・同和問題講演会）	33人																						
④交流会（視察・地域・保育所・子ども会との交流）	201人																						
⑤地域活動（子どもまつり・カヌー・オータム奉仕活動）	3,398人																						
合 計	6,161人																						
同和問題の解決	126. 各部運営学級育成補助金（青年部）	<p>●同和地区住民の組織的な教育活動に対し、事業補助することで、社会的課題としての同和問題の解決に寄与することを目的</p> <p>◇活動内容 実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。 青年部 180人</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: right;">延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①学習会（青年部活動者会議）</td> <td style="text-align: right;">11人</td> </tr> <tr> <td>②研修会（全国青年集会）</td> <td style="text-align: right;">32人</td> </tr> <tr> <td>③役員会</td> <td style="text-align: right;">62人</td> </tr> <tr> <td>④会議（高校生活動者会議）</td> <td style="text-align: right;">6人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">111人</td> </tr> </tbody> </table>		延べ人数	①学習会（青年部活動者会議）	11人	②研修会（全国青年集会）	32人	③役員会	62人	④会議（高校生活動者会議）	6人	合 計	111人	A								
	延べ人数																						
①学習会（青年部活動者会議）	11人																						
②研修会（全国青年集会）	32人																						
③役員会	62人																						
④会議（高校生活動者会議）	6人																						
合 計	111人																						
同和問題の解決	127. 各部運営学級育成補助金（子ども会育成会）	<p>●同和地区住民の組織的な教育活動に対し、事業補助することで、社会的課題としての同和問題の解決に寄与することを目的</p> <p>活動内容 実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。 子ども会育成会 51人</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: right;">延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①定例学習会</td> <td style="text-align: right;">390人</td> </tr> <tr> <td>②各種学習会（就学前・3支部育成会・運営委員会）</td> <td style="text-align: right;">298人</td> </tr> <tr> <td>③研修会（人権・同和教育）</td> <td style="text-align: right;">48人</td> </tr> <tr> <td>④交流会（子ども会・育成会共に歩く会）</td> <td style="text-align: right;">186人</td> </tr> <tr> <td>⑤懇談会（市内小中学校）</td> <td style="text-align: right;">15人</td> </tr> <tr> <td>⑥館外活動（平和行進）</td> <td style="text-align: right;">2人</td> </tr> <tr> <td>⑦地域活動（遊ゆうまつり奉仕活動）</td> <td style="text-align: right;">4人</td> </tr> <tr> <td>⑧その他の活動（資源回収）</td> <td style="text-align: right;">50人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">993人</td> </tr> </tbody> </table>		延べ人数	①定例学習会	390人	②各種学習会（就学前・3支部育成会・運営委員会）	298人	③研修会（人権・同和教育）	48人	④交流会（子ども会・育成会共に歩く会）	186人	⑤懇談会（市内小中学校）	15人	⑥館外活動（平和行進）	2人	⑦地域活動（遊ゆうまつり奉仕活動）	4人	⑧その他の活動（資源回収）	50人	合 計	993人	A
	延べ人数																						
①定例学習会	390人																						
②各種学習会（就学前・3支部育成会・運営委員会）	298人																						
③研修会（人権・同和教育）	48人																						
④交流会（子ども会・育成会共に歩く会）	186人																						
⑤懇談会（市内小中学校）	15人																						
⑥館外活動（平和行進）	2人																						
⑦地域活動（遊ゆうまつり奉仕活動）	4人																						
⑧その他の活動（資源回収）	50人																						
合 計	993人																						

同和問題の解決	128. 各部運営学級育成補助金（各種学級）	<p>●同和地区住民の組織的な教育活動に対し、事業補助することで、社会的課題としての同和問題の解決に寄与することを目的</p> <p>◇活動内容 実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。 各種学級生 227人</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">延べ人数</td> </tr> <tr> <td>①英会話教室</td> <td style="text-align: right;">59人</td> </tr> <tr> <td>②音楽教室</td> <td style="text-align: right;">746人</td> </tr> <tr> <td>③健康料理教室</td> <td style="text-align: right;">1,144人</td> </tr> <tr> <td>④民舞教室</td> <td style="text-align: right;">166人</td> </tr> <tr> <td>⑤健康体操教室</td> <td style="text-align: right;">434人</td> </tr> <tr> <td>⑥カラオケ教室</td> <td style="text-align: right;">295人</td> </tr> <tr> <td>⑦アートフラワー</td> <td style="text-align: right;">145人</td> </tr> <tr> <td>⑧手芸教室</td> <td style="text-align: right;">183人</td> </tr> <tr> <td>⑨生け花教室</td> <td style="text-align: right;">56人</td> </tr> <tr> <td>⑩盆栽教室</td> <td style="text-align: right;">152人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">3,330人</td> </tr> </table>		延べ人数	①英会話教室	59人	②音楽教室	746人	③健康料理教室	1,144人	④民舞教室	166人	⑤健康体操教室	434人	⑥カラオケ教室	295人	⑦アートフラワー	145人	⑧手芸教室	183人	⑨生け花教室	56人	⑩盆栽教室	152人	合計	3,330人	A
	延べ人数																										
①英会話教室	59人																										
②音楽教室	746人																										
③健康料理教室	1,144人																										
④民舞教室	166人																										
⑤健康体操教室	434人																										
⑥カラオケ教室	295人																										
⑦アートフラワー	145人																										
⑧手芸教室	183人																										
⑨生け花教室	56人																										
⑩盆栽教室	152人																										
合計	3,330人																										
施策の総合推進	129. 同和教育推進5中学校区事業補助金	<p>●5中学校区の児童・生徒の人権尊重意識が高まり、一人ひとりを大切に人権・同和教育が推進されている。</p> <p>◇・5中学校区に推進委員会設置 ・ブロック研修会ならびに公開授業研を実施</p>	B																								
施策の総合推進	130. 指導者養成講座	<p>●女性問題の講座の学習活動を通して「部落差別をはじめとする様々な差別の存在に気づき、地域での実践活動を通して人権思想を暮らしの中に生かし、一人ひとりの豊かな生活や幸せな未来を築くため」地域社会において核となり得る指導者を育成する。</p> <p>◇5月から2月まで、「子どもの問題」「人権問題」「部落問題」「平和問題」「女性問題」をテーマとして講座を開催した。</p>	B																								
施策の総合推進	131. 筑紫地区社会教育振興協議会運営事業	<p>●筑紫地区における社会人権・同和教育の現状や課題、取り組み等の情報交換を行うとともに、同和問題をはじめとする人権問題の学習、研修機会の提供を図り、社会人権・同和教育の振興と発展を期することを目的とする。</p> <p>◇・担当者研修会 ・啓発情報交換会 ・筑紫地区社会教育関係職員同和問題研修会等の企画運営を実施した。</p>	B																								